

# 電友会四国連合会報

第 56 号

61. 10



## 目次

- 新任のごあいさつ……………電友会四国連合会長……………二
- 辞任のごあいさつ……………泉 節太郎……………二
- NTT情報……………三
- NTT四国総支社が初めての子会社設立……………三
- 国鉄職員二〇名NTT四国へ採用……………三
- NTT四国研修センター新管理実習棟完成……………四
- テレホンサービスの人気番組ベスト5……………四
- 共済会だより……………五
- 電友会四国連合会総会……………六
- 訃 報……………七
- 表紙のことば「女先生」……………莊野丹秀……………七
- 随 筆……………七
- 上田 昇 梶浦 照秀 隅本 豊勝
- 事務局から……………九
- 編集後記……………九

新任のごあいさつ

電友会四国連合会長

赤 刎 正



このたび図らずも、泉節太郎会長のあとを受け継ぎ、会長の大役を仰せつかり、その重責に身の引きしまる思いがいたします。

先ずもって、長年に亘り会の発展にご盡力下さいました泉さんのご功労に対し衷心より深甚の敬意と謝意を捧げます。私は生来非才の身ではございますが、会の目的達成のため誠心誠意努力する所存でございますので何とぞよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

現在、四国連合会傘下の各県退職者の会会員総数は、二、七〇〇余名の多きに達しました。数こそ力なりと言われますとおり、会員の増加は会の発展につながり、まことに喜ばしいことでもあります。が、量的勢力の拡大もさることながら、今後の会のあり方、会員一人ひとりの生き方を反省してみることが大切であります。

今や電気通信事業は、本格的に競争時代となり、次々に新しいメディアが誕生し、競争の輪が急激に広がりつつあります。折柄、世の中のN T Tを見る目はますます厳しいものがある反面、多くの企業の中で、地域の発展と

生活の向上に、中核となって推進的役割を果たす企業としてのN T Tに期待するところも大であります。

このような難局に対応される現役の方々のご辛苦は、さぞかしと拝察いたしますが、切にご奮闘のほどをお祈り申し上げます。

私どもO Bの今日の姿は、電電公社、N T Tの中でいわゆる同じ釜の飯を食って培われた人生の延長であり、平素O Bの誰もが、N T Tのご恩恵に感謝しながら、その発展を希い、N T Tの良き理解者をもって自ら任ずるものであり、各県の会相互の連繫を一層密にし、N T Tとのパイプをより太くするとともに、地域との接点として、従来にもまして地域に密着し、オレンジラインを中心とするコンサルタント活動やボランティア活動に積極的に参加し、少しなりともN T Tのお役に立ちたいものと念願しております。またこのことは、私どもの最大関心事である年金の基盤を強固にすることにつながるものと信じます。

目下、電退連は、公的年金の統合の情勢に対処して、恩給・共済年金に関する既得権の実質価値を維持するよう努力していますが、高齢化時代を迎え、老後の暮しが厳しい現実と直面することになりはしないかと、懸念されます。私たち大多数の会員は、生活を年金に依存しておりますが、心すべきは、漫然と年金に頼ることなく、自ら健康を管理し、生きがいとしての趣味を持ち、ムリ、ムダのない合理的生活を旨とすることでありましょう。願はくば、皆様お一人おひとりの人生が、つつましいながらも心豊かに、実りあるものでありますよう祈念いたします。

辞任のごあいさつ

電友会四国連合会顧問

泉 節太郎



わたくし、このたび、電友会四国連合会会長を辞任いたしました。

顧みれば、昭和四十三年、連合会発足以来、十有八年の長きにわたり、会員皆様のご支援のもとに、会長の席を汚してまいりましたが、わたくしも今年八十の齢を重ねてまいりましたので、もうこの辺が退き時ではないかと考え、去る八月十一日の総会において辞意を表明、満場一致の賛成を得て決定せられたのであります。

長期にわたる皆さんの好意あるご支援に対し、ここに有難く、心からお礼を申し上げます。

なお、わたくしの後任には、愛媛県選出の副会長でありました、赤刎正さんとなりましたので、わたくし同様の支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に四国四県にまたがる会員の皆様のご健康とお幸せをお祈りし、ごあいさついたします。

NTT情報

NTT四国総支社が初めての  
子会社を設立——

——ニュービジネスの「株式会社  
エヌ・ティ・ティ・パステル」

NTT四国総支社では、テレホンマーケティングの企画・代行、結婚式の祝辞をテープで贈るブライダルメールの受付・販売等、電気通信をツールとした各種情報関連サービスの提供を行う子会社「株式会社エヌ・ティ・ティ・パステル」を七月二四日(木)に設立しました。

NTTでは、昨年四月一日の民営化以後、事業領域の拡大を目ざして、NTTが持っている人、物、技術等の経営資源を活用し、お客さまのお役に立つ事業の開発と子会社の設立を進めています。四国総支社としては、今回の「株式会社エヌ・ティ・ティ・パステル」が第一号の子会社となりました。

一、会社設立のねらい

最近の企業の販売戦略は、お客さまのニーズの多様化とあいまって対象のお客さまをしぼった効果的なマーケティング活動を重要視されており、そのツールとして電話の有効性(市場到達率、即効性、双方向性、低廉性)が見直されています。

四国でも、この電話によるマーケティング活動、テレホンマーケティング「に」関心が高まり、新規市場として有望視され、このほど松山地域に導入されたフリーダイヤ

ルサービスとあいまって、今後の需要は益々増大するものと考えられます。

このような動向に承えて、四国総支社では女性の感性を活かしたニュービジネス「テレホンマーケティング」の企画・代行を柱とした事業を展開するため、女性社員を中心とする子会社を設立しました。

二、会社の概要

(1) 商 業

株式会社エヌ・ティ・ティ・パステル  
(パステル：PASTEL..Promote.  
Active Sales By Telephone)

(2) 所在地

松山市一番町四丁目三

(3) 資本金

三、〇〇万円(授權資本六、〇〇〇万円)

(4) 出資者

日本電信電話株式会社(一〇〇%)

(5) 設立月日

昭和六十一年七月二四日(木)

(6) 事業内容

ア、電話オペレーション代行  
電話受付代行(フリーダイヤルの利用)  
電話発信代行(販売促進、意向調査)

イ、ブライダルメールの受付・販売

ウ、テレホンサービスの企画、製作、販売

エ、テレホンカード、各種通信機器の

販売及び販売促進用品の企画、販売

オ、キャブテン画面の作成、入力代行

カ、前各号に付帯関連する一切の業務

(7) 組 織

代表取締役社長——取締役「営業部  
企画部

(8) 役 員

代表取締役社長 垂水 秀夫(五〇才)

(非常勤) NTT松山電報局長  
取締役 榊 静子(四六才) (N  
TT四国総支社新規事業開発  
室担当課長)

取締役 森川 佐平(四一才) (N  
TT四国総支社営業推進部長)

取締役 山内 宜英(五四才) (N  
TT四国料金センタ所長)

(非常勤) 坪内精次郎(三六才) (N  
TT四国総支社経理部長)

監査役 (非常勤) T T四国総支社経理部長)

従業員

設立時の常勤従業員は、榊取締役を含  
め四名で全員NTTからの出向とします。

(9) 国鉄職員二〇名NTT四国へ  
採用——九月一日から研修開始

NTT四国総支社では、国鉄職員の受入れ  
について、国家的見地から今春来検討を進め  
てきたところですが、七月に採用試験を実施  
し、このたび二〇名の採用を内定しました。

この二〇名のフレッシュマンは、今後、「切  
符」から「テレホンカード」へ、「レール」  
から「電話ケーブル」へと再出発し、NTT  
の一員として、販売等営業部門及び工部門  
において、お客さまサービスの向上と企業の  
発展を目指して活躍することと期待されてい  
ます。

研修等の概要は次のとおりです。

一、派遣受入れ月日 昭和六一年九月一日(月)

二、職種別受入れ人員

販売等営業部門 一三名

工 事 部 門 七名

三、研 修

(1) 基礎研修 NTT四国研修センタ(松  
山市南江戸町二、三番地の二)

(2) 実務研修  
 基礎研修終了後、実務研修のためそれぞれ受入れ先事業所（愛媛県内七名、香川県内七名、徳島県内三名、高知県内三名）へ派遣されます。

四、採用予定時期 昭和六三年四月一日

### NTT四国研修センター 新管理実習棟が完成

NTT四国研修センターでは、新サービスの研修に対応するため、六〇年三月から新管理実習棟の建設を進めていきましたが、このほど完成しました。

この建物は、昨年三月新グラウンド、体育館等の移転が完了したことに伴い旧グラウンド跡へ建設したものです。

当研修センターは昭和二七年三月創設され、その後昭和四三年に整備されましたが、その後も急テンポに導入される新技術、新サービスに対応する技術訓練が増加したため、当研修センターの設備では対応できない訓練があり、その都度鈴鹿電気通信学園や他総支社研修センターへ委託するなどの措置を講じてきました。このたび完成した新管理実習棟には、INSの中核となるCNDデジタル交換機、光ファイバケーブル接続装置をはじめ、コンピュータと対話しながら自学、自習できるCAL (Computer Assisted Learning) 端末設置などの訓練設備を逐次設置していきます。

この設備を有効活用するため、NTT四国研修センターではNTTの社内訓練だけでなく、社外の方を対象とした各種情報通信セミナー、工事担当者受験対策セミナーなども積極的に実施するとともに、他の企業の皆様にも各種会議等にご利用いただきたいと思います。

#### 参考

- 1 総工費 約五億七千万円
- 2 建築面積 鉄筋コンクリート三階建、約三四〇〇㎡
- 3 用途 1F、教官事務室等  
2F、光ファイバケーブル実習室  
3F、INS交換機実習室兼電話交換機調整実習室  
デジタル宅内実習室等

### テレホンサービスの 人気番組ベスト5

NTT四国総支社では、最近人気を集めているテレホンサービスの利用状況をとりまとめました。

テレホンサービスは、最初、NTTが天気予報サービス(TN)及び時報サービス(TI)として開始し、その後、他企業も加わり順調に提供番組数も増えてきていますが、特に最近の提供番組の数、種類及び利用回数は目をみはるほど増加しています。

各県別の人気番組をみますと、愛媛県では子供向けの「リカちゃんおしゃべりテレホンサービス」が一日平均六〇〇呼数で第一位、次いで「スポーツハイライト」、「レコード新曲情報」となっています。

他の三県では香川県が「ファミコンソフト

(一、七二〇呼数)、徳島県が「サーフィンをレホン」(一九〇呼数)、高知県が「ゲゲゲの鬼太郎」(四一〇呼数)とそれぞれ第一位となっています。

最近の各県別人気番組ベスト5をみますと、人気番組はファミコン関係、アニメ関係、歌謡曲関係及びスポーツ情報に集中しているのが特徴といえます。

また、生活に密着した天気予報サービス(四国合計で一日約三万四千呼数)、時報サービス(同約三万四千呼数)とともに、競輪、競馬等レース案内(同約五万九千呼数)についても隠れたテレホンサービスとして定着化しています。

一方、テレホンサービスを提供番組数で見ると四国では現在約一二〇〇番組のサービスが提供されており、昨年一年間で三九〇番組の増となっています。

これをサービス情報別にみると、学校情報、農協情報等の社会公共情報が二二%と第一位を占め、つづいて観光案内、宿泊案内等の観

四国の県別テレホンサービス人気番組ベスト5

県別	順位	サービス名	電話番号	1日平均呼数 (61年6月)
愛媛	1	リカちゃん	(0899) 43-5600	600呼数
	2	愛媛新聞スポーツハイライト	(0899) 41-9221	420
	3	レコード新曲情報	(0897) 33-7788	250
	4	南海放送ラジオテレホンサービス	(0899) 46-0099	230
	5	テレホンミュージック	(0897) 72-2727	200
香川	1	ナムコいちばんのファミコンソフト	(0878) 31-7651	1710
	2	ウララ(徳)電話局高松支局	(0878) 61-1800	600
	3	プロ野球ナイター速報	(0878) 31-1189	500
	4	新刊コミックス速報	(0878) 37-0909	430
	5	すきすきタレント	(0878) 22-9999	300
徳島	1	サーフィンテレホン	(08847) 2-3211	190
	2	テレホン動物園	(0886) 52-9900	170
	3	うずしおテレホン	(0886) 52-1500	170
	4	スターソルジャー	(0886) 86-2000	170
	5	自然の歌声	(0886) 53-2400	130
高知	1	ゲゲゲの鬼太郎	(0888) 22-9800	410
	2	ヒット歌謡	(0888) 84-4124	330
	3	おしゃべりトークン	(0888) 25-1119	210
	4	テレホン歌謡	(0888) 24-4141	130
	5	プロ野球速報	(0888) 22-9395	120

光情報一七%、法話、説教、童話、民謡等の趣味と教養情報一五%となっています。

これは、テレホンサービスが企業と個人、個人と個人とを結びつけ、より身近なものとして利用され、生活にうるおいや、豊かさを得られるところから親しまれ、このように多方面にわたって利用され増加してきたものと考えられます。

NTTでは、今後ともテレホンサービスが皆様に愛され親しまれるよう、より一層の普及に努めることとしています。

**共済会だより**  
(三十五)

**テルウェル四国支部  
福祉相談所**

**「ボランティア・NTTOB会」が  
施設ボランティアに初活動  
— テレビ・新聞でも報道 —**

さる昭和六一年六月一七日結成された「ボランティア・NTTOB会」(会員四六名・会長 鶴本豊勝、事務局長、大野正治)が、施設ボランティア第一号として八月一〇日(日)、県護国神社(松山市御幸)の愛媛万葉苑で、他のボランティアグループとともに、有志一〇名が奉仕活動に参加、その模様が、八月一三日付の「ゆうかん えひめ」で報道され、又八月二六日の南海放送「ザ・スケッチ△ふるさと特集各地の夏の話題」の時間(午後四時から四〇分)の中でも取りあげられ放映されました。このNTTOB会は、企業OBボランティアグループとしては、まれなグループとして、地域からも、今後の活動に注目を浴びていま

す。

※愛媛万葉苑は、県内の有志で組織された、愛媛師友会「い」の会の会員が、昭和四三年五月、前年に熟田津の歌碑を建てたのに続き、万葉集に歌われているムラサキ、ベニバナなどの植物百五十種を植え開苑したもので、同会員のほか、ボランティアグループや有志が苑内の雑草引き、落ち葉やゴミなどの清掃奉仕を行っており、又一年前からは全員で、万葉集の学習会を開いています。

現在、毎月第二日曜日を定例奉仕の日と定め、奉仕活動が行われています。

NTTOB会の施設ボランティアは、今回が初めてですが、このほか、会員相互のボランティアを含め、会員等宅周辺の清掃、庭木の手入れや散水、老人世帯の慰問など、誰でもが参加できる活動も考えておりますので、入会ご希望の方、あるいはボランティアを受けたいとお考えの方は、お気軽に支部福祉相談所か、NTTOB会の大野事務局長宅(〇八九九一七五〇四)へご連絡ください。



**「心身障害者(児)」の方々に  
お見舞金をお贈りします。**

テルウェル四国支部では、社会福祉事業のいっかんとして、毎年心身障害者(児)の方々に、お見舞金をお贈りしております。六〇年度は、一七六名の方にお贈りしましたが、その対象者及び必要書類などは、次のとおりです。

該当される方で、これまで受給されていない方は、福祉相談所へお知らせください。

■対象者は……

- (1) NTT、全電通、会の現役職員の配偶者及び扶養している父母または子。
- (2) 上記の退職者及び遺族(扶養している父母または子を含む)。

■必要書類は……

所定の申込書等のほか、次表の書類が必要です。

障 害 区 分	申込書等に添付していただく書類
身 体 障 害	身体障害者手帳(④) ※1級、2級の方
精 神 障 害	療育手帳(④) ※A級の方
特 定 疾 患	特定疾患受給者証(⑤)、または医師の診断書
小児慢性特定疾患	小児慢性特定疾患治療研究認定通知書(⑥)、または医師の診断書
公費健康被害補償	公費医療手帳(⑦)
先天性内蔵疾患	育成医療券(⑧)
精 神 病	精神病院の在院証明書、またはこ れに代わる診断書

■お見舞金は……

- (1) 重度障害者(児)の方には、  
一入年額三万円
- (2) 重症障害者(児)の方には、  
一入年額五万円

## 「退職者文化活動行事」の

一般教養講座もあと一回となりました

―奥様同伴で、ぜひご参加を―

四国支部で、計画実施している一般教養講座の、これまでの実施状況は次のとおりですが、残すところ、あと一回となりました。前もって、参加希望されていなかった方も結構ですから、ぜひ奥様同伴でご参加ください。

(実施状況)

五月一六日(金)

。演題 「トキ告げるか風見雞」

。講師 細田 虔先生(南海放送参与)

。参加人員 六九名

七月一〇日(木)

。演題 「とっさの場合の処置について」

。講師 石戸谷 武先生(松山通信病院長)

。参加人員 五八名

九月一二日(金)

。演題 (映写会)

「老けてたまるか」(三〇分)

「大自然にはばたく」(六五分)

。参加人員 四八名

〇十一月一四日(金)

。演題 「歴史について」(仮題)

。講師 田中 歳雄先生

(愛媛大学名誉教授)

(注)場所は、番町公民館(松山市二番町・番町ホテル東側)で、午後一時三〇分から開講します。

◇お問合せ・お申し出は―

テルウェル四国支部

福祉相談所

(TEL)(〇八九九)三二一九九五)

## 電友会四国連合会総会

八月十一日(月)、晴天、この日松山市清水町四国電信電話会館に、各県選出の代議員四十名、役員十一名が出席、電友会四国連合会第十五回総会を開催した。

貝淵N T T四国総支社長、野本四国友愛会長が来賓としてご臨席され、定刻十時開会した。会の進行にさきがけて、物故された会員とご家族に黙祷を捧げてご冥福を祈り、泉会長のあいさつがあり、続いて貝淵N T T四国総支社長のお祝辞をいただいた。総支社長は十五回総会のお祝いと、この会を祝辞をのべる機会をいただいたことに謝意を述べられたあと、「八月一日、国鉄の東京―大阪間の専用回線のサービスインにより、N T Tにとって昭和六十一年は競争元年となること。競争に対応できるようN T Tに事業部制を導入したこと。競争上料金体系の見直しが必要であること。現役が精一杯頑張ることは勿論であるが、地域で活躍しているOBの方の力強い支援が大変重要であるので、従来以上につきなかりを強くしていきたい。等競争元年のご決意を示された。

ついで参議院議員西村尚治先生、長田裕二先生、岡野裕先生、守住有信先生からの祝電を披露したあと、愛媛県代議員篠浦達行氏を議長に選び、次の議案を審議し原案どおり承認または決定した。

一、昭和六十年年度決算報告(別掲)

二、同 会計監査報告

三、昭和六十一年度事業計画(別掲)

続いて米寿を迎えた松山市佐賀茂吉さん、宇和島市安岡富さん、高知市北川晃韻さんにお祝いの記念品を贈ることを披露して一応会は終わったが、泉会長から緊急発言があり、去る七月二十九日の理事会で承認決議された泉会長辞任、新会長赤羽正氏、副会長六車美一氏、理事菅優氏の人事を発表、新役員を紹介、泉会長辞任あいさつ、新赤羽会長から泉会長へ謝辞、新任あいさつがなされて十一時半、一旦休憩にはいり、十二時半から懇親会にうつった。青木副総支社長、荒谷企画総務部長、久保田総務室長もご臨席いただき、約一時間なごやかな交歓が行なわれた。

## 昭和六十一年度事業計画

本会は、各県退職者の会相互の連携を密にし、会員の生活の安定、福祉の増進をはかり、あわせて日本電信電話株式会社の事業および業務に寄与するため、下記施策の推進をはかるものとする。

一、会員の現況を把握し、その将来対策を検討する。

二、日本電信電話株式会社の良き理解者として、地域において積極的に協力する。

三、公的年金の統合等の情勢に対処して、恩給・共済年金に関する既得権の実質価値を維持するよう努める。

四、生存者叙勲の範囲拡大につき、引き続き電退連を通じ郵政省へ積極的に要請する。

五、電気通信共済会が行う退職者を対象とする各種文化活動に積極的に協力する。

六、連合会会報の一層の充実をはかる。

昭和61年度収支予算 (61.4.1~62.3.31)

昭和60年度決算報告 (60.4.1~61.3.31)

支出の部 (単位円)

収入の部 (単位円)

支出の部 (単位円)

収入の部 (単位円)

項目	金額
分担金	65,000
旅費交通費	230,000
バッジ買入金	104,000
会議費	15,500
総会、理事会 編集委員会	15,500
事務費	80,550
通信費	41,550
用品費	6,000
印刷費	33,000
雑費	62,000
予備費	705,704
合計	1,262,754

項目	金額
繰越金	553,754
会費	544,600
バッジ販売金	108,400
雑収入	56,000
合計	1,262,754

昭和六十一年度収支予算

項目	金額
分担金	65,000
旅費交通費	200,900
バッジ買入金	128,000
会議費	21,150
総会、理事会 編集委員会	21,150
事務費	69,100
通信費	33,400
用品費	3,200
印刷費	32,500
雑費	76,500
繰越金	553,754
合計	1,114,404

昭和六十年度決算報告

項目	金額
繰越金	563,385
会費	483,000
バッジ販売金	8,800
雑収入	59,219
合計	1,114,404

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り致します。

計 報

氏名	死亡年月日	行年	所屬
畑山嘉吉殿	61・8・6	七七	高知
福家辰次殿	61・8・28	八二	高松
田井芳信殿	61・9・14	七五	山松
菅野達也殿	61・9・17	六五	山松
山口常次郎殿	61・9・17	九一	大洲
岡昇殿	61・9・19	六二	高松

表紙のことは

女 先 生

莊 野 丹 秀 (内海)

青い海が見える丘の上にある「マリヤの園」(老人ホーム)を訪ねる。  
小学校二年生の時の受持ちの岩井シン先生に会いたくて。  
現在言語障害で声が出ない。寝たきり老人である。とおききしている。お元気な先生に高松でお会いしてから、もう二十年近くになる。シスターに案内されて病室に入る。  
「この方が岩井さんです」と言われても先生とは思えないほど年老いていた。  
先生も遠い記憶は急に帰って来ないらしく、喰い入るように私の顔を見つめている。目鏡をはずして私も懐かしい先生の顔をみつめる。いつか二人の瞳の中にあの日、あの頃の思い出がよみがえり、先生はニコリとほほ

随 筆

筆



どっさり・ばっかり

上 田 昇 (松山)

「どっさり・ばっかり」って、なんのこっちゃ? まあ終りまで読んでつかっさい。

私も夫婦が再びの二人世帯にもどってから何年になるだろうか。娘が嫁ぎ、孫娘が小四と小二になる。(こんなことは、年齢がわ

えみかけてこられた。少年の日に、先生と二人で唱歌を歌いながらあるいた麦畑の小道、頭をいつも優しく撫でてくださったやわらかい手。互に握りしめ合った先生の手は、高松の女学校を出たばかりの若い先生のあの手と同じく温かくてやさしい手であった。  
うれし涙がにじんだ瞳で、特製の大きな文字板に「しよのたかしさん」……「えがじょうずでした」を、たどたどしく指先で一文字一文字おさえてほえんで下された。矢張り小学生の時よく見たあの優しい大きな瞳であった。あの時先生は、一年だけで突然学校を去られた。  
「お元気でいて下さいよ。また来ます」丘の白い建物に手を振りながら誰も居ない坂道で立ちどまって、もう一度大きな声で叫んだ。  
この老先生は、作家壺井栄さんの実妹である。



- 四、兵庫県本市船場町
- 五、熊本市船場町

残り十一ヶ所は「フナバ」と読む。

- 一、北海道留萌市船場町
- 二、北海道石狩町船場
- 三、秋田県雄物川町船場
- 四、山形県酒田市船場町
- 五、宮城県丸森町船場
- 六、大阪市北区船場町
- 七、福島県郡山船場向
- 八、和歌山市船場町
- 九、新潟市船場町
- 十、茨城県東海村船場
- 十一、松山市船場町

格言は捨てられるか

鶴 本 豊 勝 (松山)

私達の先輩は長い年月をかけて生活の知恵や体験によって創り出した格言や諺を我々に色々な方法で伝えて呉れました。我々も後輩により多くの格言を残したいものです。

これらの格言の中で身体を守る手取り早い言葉は、男四二才、女三三才の厄年があり、徳島日和佐の薬王寺には厄除祈願の石段があり、一円貨を段毎にお供えして厄逃れを祈る習慣があり、今でも多くのお参りがあるそうです。

男性の四二才前後は男盛りを過ぎ体力的に無理が効かなくなる時期で元気な者程注意する必要がありますから本尊前で手を合せ身体のことを振返るチャンスでしょう。

孝行のしたい時には親はなし、情は人の為ならずなど昭和二十年の終戦を境に日本語の役目が終わったのか現代人には縁のない言葉として捨てられたのかと心配です。

何とかこの格言が使えないかとふと将棋のことを思いました。

「横歩舐めて三年の煩い」とは飛車がつい何気なく横歩を取ったため身を滅すことで、「歩のない将棋は負け将棋」とは一歩がないため優勢な将棋を負けることであり、「桂の高飛び歩の餌食」とは大切な桂が歩に取られることであり、「三桂あって詰まぬことなし」とは何の変哲もない桂が王の行手を阻み万事休させる威力を発揮することです。

めまぐるしく変化する昨今、せめて将棋の世界で格言を駆使して慰めのためパチリパチリと時を過ごしている次第です。同好の士よ語り合い乍ら対局しませんか。

事務局から

電友会四国連合会会長がかわります

六十一年七月二十九日に行なわれた電友会四国連合会理事会で、泉節太郎会長から「八月十三日で満八十歳になる。長らくお世話をさせてもらったが、この際退任させてもらいたい」とのお申出があり、前からのお考えであった様子で固いご決意がうかがえたので、理事会はこれを了承し、これに伴う関係人事がつぎのようにきまりました。

- 会 長 赤 刳 正 (前副会長)
- 副会長 六 車 美 一 (理 事)
- 理 事 菅 菅 優 (前会計監事)

なお、泉節太郎さんは、八月十日の理事会で顧問を委嘱することとし、八月十一日の連合会総会で、前述人事と合せて報告し、紹介しました。

「注」 泉さんは、昭和四十三年四月から、

十八年余の長い間、会長をつとめられました。

投稿規定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
  - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
  - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 十月二〇日  
原稿の取扱についてはお任せねがいます。

編集後記

▽虫の音もさやかに、秋深むの感一入でございます。好季を迎えて皆様お元気でお過ごしのことでしょう。この大切な季節、お天気にはできるだけ外に出て日光に当たり、冬越しの健康づくりに努めたいものです。

▽各県の会ともに新規会員を迎えて活気に満ちていることと思います。四国連合会会員数は、二千七百三十名の大世帯になりました。このむきですと、来年には三千人の大台に乗るかも知れません。(渡部)



電友会四国連合会会報 第五六号

昭和六十一年十月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目(千七九〇)

NTT四国総支社内

電話(〇八九九)三六一二〇二三

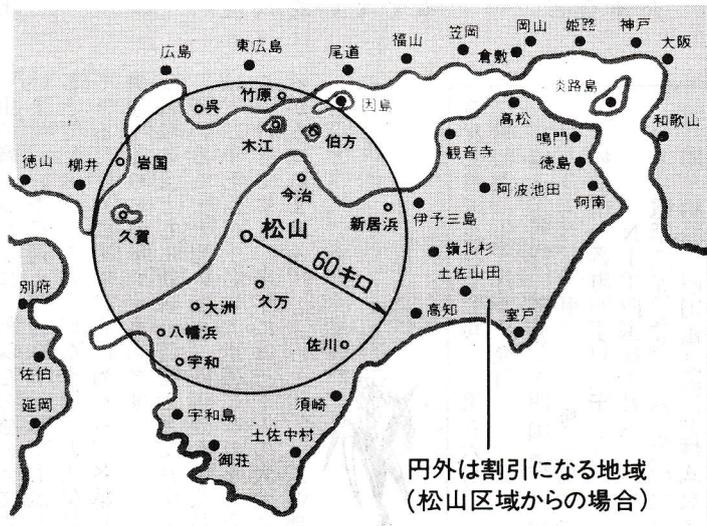
印刷 四国電話印刷株式会社



# 「ウィークエンド・コール」

つもる話は土・日に電話

土曜、日曜、祝日の60kmを  
 超える地域へのダイヤル通  
 話料(交換手扱いは除く)は、  
 昼間も平日の約4割引です。



円外は割引になる地域  
 (松山区域からの場合)



未来を考える人間企業